

日 芸 み や ぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

新会長に桑折洋一氏(前事務局長) 宮城江古田会総会開催 役員改選

平成26年度の宮城江古田会総会は、6月21日(土)仙台市青葉区国分町の「新萬彩」にて、綾部東洋子校友会会長、國分一彦岩手江古田会会長、中沢幸男校友会宮城県支部副支部長をお招きして開催されました。今年の総会には新メンバーが3名参加し、総勢16人のにぎやかな総会となりました。総会では来賓祝辞があり、その後今回初めて参加した竹野博思さん(文芸・S58年度卒)、上遠野(かどの)修さん(デザイン・S62年度卒)、高橋咲千子さん(大学院・音楽H21年度卒)が紹介されました。この後、平成25年度の活動報告・会計報告、26年度の活動計画・予算が承認されました。続いて役員の改選が行われ、4期8年務められた塚崎隆夫会長(写真・S43年度卒)が体調の理由で会長を退き、後任に桑折洋一事務局長(放送・S55年度卒)が就きました。また桑折事務局長の後任は酒井健樹副会長(放送・S52年度卒)となりました。塚崎会長は積極的に校友会の活動を続けられていて、信望も厚く惜しまれての交代でした。(酒井)

桑折洋一新会長

放送・S55年度卒

平成26年6月の総会で第3代宮城江古田会会長に就任しました桑折洋一です。昭和56年放送学科卒業。現在は、OA機器・ソフト開発会社を経営しております。卒業後地元宮城に戻り就職し、12年後に会社を設立し今に至っております。また、仙台市太白区のFMたいはくで「じじネタ・オンタイムトーク」という番組を開局

から担当しておりまして、8年目に突入しました。毎週火曜日19時から30分の生放送となります。ゲスト歓迎ですので、是非遊びに来て下さい。

宮城江古田会との係わりは、仙台プラザホテルで行われた設立に参加した事です。もはや26年も前の事です。

地元の放送局に勤めている方々の中で小さくなっていたのが、思いだされます。それは、一人も知り合いがいなく淋しかったから。会を重ねた頃大学在籍中の先輩に会えた時は、嬉しかったですね。まさか・・・自分が宮城江古田会の会長になるとは、考えた事ありませんでしたが、この度の総会で選出され気が引き締まります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



酒井健樹新事務局長

放送・S52年度卒

この度、桑折洋一事務局長の後任として就任いたしました酒井です。宮城江古田会に入会したのは、約10年前のことです。と申しましても都合の良い時に顔を出す程度で何の力にもなって

おりませんでした。しかし、唯一2008年に開催したアートフェスティバルは何度も打ち合わせに参加させていただいて、大変印象深いイベントでした。この7月、36年余勤めました東日本放送を定年退社し、8月からは再雇用のシニアスタッフとして働いております。まだまだ仕事も忙しいのですが、宮城江古田会の隆盛のためにも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



宮城江古田会総会 2014.6.21

新会員です 宜しく

永遠なる江古田の薫風 竹野博思・文芸S58年度卒

先般、初めて宮城江古田会に参加させていただきました。多くの先輩方がおいでになる会場に入るや否や、蘇る懐かしい匂い。もちろん、それは物理的な匂いではなく、先輩方が醸し出している人間的な魅力のこと。これこそが、藝術学部出身者の勲章であり、江古田の薫風である、と卒業後三十年以上を経て実感いたしました。今現在、株式会社ユニグラフィック(企画・デザイン・Web・印刷・出版・画材販売等)に在籍し、プロデューサー職に就いておりますが、本業とは別に、仙台をアートで盛り上げようというムーブメントを展開しております。現在の試みは「仙台市に現代美術館を」です。全国に20ある政令指定都市のなかで、市立または市に順ずる美術館が無い唯一の都市が仙台市、という

ことをご存知でしょうか。純然たる美大が無いことが大きな理由の一つですが、既に医学や工学、農学など、世界的な経済効果が見込める学術があるので「今さら芸術なんて」という暗黙の了解があるのかも知れません。それを打破するためにも市議会議員や行政、大学教授、メディア関連の有志で、草の根的に活動しております。東北一の美術不毛都市仙台をミュージアムシティへと変貌させるために、是非とも諸先輩のお知恵とご経験をお借りしたい所存です。ご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。



故郷でリサイタル 高橋咲千子・大学院音楽H21年度卒

宮城江古田会に入会させていただききっかけになったのは、昨年5月に主催したピアノリサイタルを声楽科の先輩、星久美子さんが聴きに来てくださったことでした。中学卒業以来13年間離れていた地元仙台に帰ってきて1年余り、まだ手探りの状態ですが、今年は3月に教育委員会のパーティで演奏、6月に修紅短期大学で演奏し、10月にはせんくら駅なかコンサート、宮城野区文化センターでのコンサート、12月には児童館、来年1月は電力ホールで演奏する予定です。少しずつ仙台での活動の幅を広げられているのは、星さ



んを始め色々な方のご協力のお蔭です。これから、宮城江古田会の皆様にはお世話になると思いますが何卒よろしくお願い致します。



感謝・感謝の8年 塚崎隆夫・写真S42年度卒

当会の依田掌初代会長から引き継いだ2006年。その前年に岩手、翌年に秋田、続いて青森、福島各江古田会が相次いで発足、先行していた山形含め東北6県に『日芸の輪』が広がりました。そうした中で、宮城江古田会設立20周年記念「アートフェスティバル・東北」を2008年に開催。浅利香津代さん(秋田)のトークや加藤順子さん(東京)のカンツォーネ、和田光弘さん(青森)・平間至さん(宮城)の写真など東北各江古田会の方々のご協力と、パンフレット作成、協賛広告、会場設営など皆様の熱意と根性でフェスティバルを盛大に開催することができ感激しました。

2011年、18,500余名の死者・行方不明者を出した東日本大震災が発生、石巻市の鈴木崇文さん(写真S39)はじめ6名の学友の写真館や店舗、住まいが津波で流出する被災に、学部や全国の江古田

会から暖かいご支援いただき、震災を記録する会報の発行を決意しました。

会の運営、会費制導入など数々の無理難題にご協力頂きありがとうございました。桑折新会長と酒井新事務局長と共に、さまざまな活動で宮城江古田会を盛り上げていただけますよう宜しくお願い申し上げます。



アートフェスティバル・東北(せんだいメディアテーク)2008.9.23

会 員 の 活 躍

にじいろクレヨン通信 柴田滋紀・大学院美術 H13年度卒

3名の中に選ばれました！

おんちゃんししょう、

メモリスピーチコンテスト全国大会出場決定！

11月1日、JEN主催の「東日本大震災風化防止プロジェクト、メモリスピーチコンテスト宮城大会」に、にじいろクレヨン代表のおんちゃんししょう(柴田滋紀)が出場しました。

タイトルは「命のつかいみち」。

東日本大震災当日の体験談や、避難所で子どもの居場所作りを始めた経緯、この3年間の活動を通しての子どもたちの変化など、8分間という限られた時間の中で熱く語りました。

10名の素晴らしいスピーチの終了後、会場オーディエンスの審査により、みごと全国大会出場する

発表後、おんちゃんししょうは「たくさんの方に聞いてもらうことができて、良かった」とコメントしていました。

会場にお越しいただいた皆さん、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

全国大会は12月7日東京の昭和女子大学オーロラホールで行われます。引き続き、応援よろしくお願いします。

[命のつかいみち全文]

<http://nijiro-kureyon.jp/>

[にじいろクレヨン活動ブログ]

<http://nijiro-kureyon.jp/blog/>



言葉のいろ

佐藤 円・放送H4年度卒

音声詩人佐藤 円(放送H4卒)とヴォイスパーフォーマー荒井真澄さんによる朗読ライブ「言葉のいろ 音のかたちVol.2～夜はふたりぼっち～」が、7月19日(土)仙台市青葉区錦町のJAZZ ME BLUES noLaにて行われました。今回はシリーズ2回目でしたが、前回のミュージシャンを交えてのステージとは雰囲気を変えて、喋り手2人だけのステージとなりました。「声とあそび 楽器とあそび ラジオみたいにあそび」というコンセプトの元、チャイム、オカリナ、レインスティックなどの楽器が登場したり、PCMレコーダー片手にSEや音楽を出しながらの朗読だったり、歌だったり、フリートークだったり…。私はいつも自分の作品を朗読していますが、20代の頃の作品は自分であって自分ではない不思議な感覚で、面白がることのできる距離感が生まれていることが

新たな発見でした。今回は、11月30日(日)の15:00から。会場は同じく錦町のJAZZ ME BLUES noLaにて。3回目となる朗読ライブのテーマは「あけてビックリおもちゃ箱」。荒井さんがstage1、私がstage2を担当します。私のステージの相棒は音楽教師で一関在住の舞石美和さん(音楽H3卒)。日芸の先輩で、元職場の先輩でもあります。スタンダードナンバーと詩の融合？朗読とアルトサックスの共演？？などという難しいことはさて置き、楽しんでいただければ幸いです。ご来場お待ちしております。



33年ぶりの報道現場 酒井健樹・放送S52年度卒

母校日芸放送学科を卒業した翌月、1978年4月に東日本放送に入社してから36年4ヶ月の時を経て今年7月に60歳の定年を迎えました。8月からは再雇用のシニアスタッフとして33年ぶりの報道部に勤務しております。仕事の内容はスポーツの報道、中継などですが、現場の状況には隔世の感があります。

私が入社した当初、16ミリフィルムカメラで取材していました。たとえば、当日夜放送のプロ野球のニュースもフィルムカメラで撮影して現像、編集、放送という時代でした。それが今では、球団中継映像と独自の撮影映像が、専用のIP回線でリアルタイムでサーバに送られ、すぐにも編集できる状況になっています。また、地上のマイクロ回線を使ってしか可能ではなかった中継が、通信衛星を介して簡単にできるようになったり、撮影したテープをダビングしながら繋いでいく編集が、データの取捨選択で行うノンリニア編集に移行したり、この30

年は目まぐるしいほどの技術革新の時代でもありました。現場は若い人たちであふれています。そんな環境の中で仕事をするのは、気持ちのいいものです。昔とは違う“ゆるやかな気持ち”で、ワクワクしながら仕事に精を出し、楽しんでいきたいと思っています。



バッハホールでサタデーモーニングコンサート 山本和香 星久美子・音楽S51年度卒

女性ヴォーカルグループ「クローバーの会」が、11月8日(土)中新田バッハホールの「サタデーモーニングコンサート」に出演しました。山本和香さんは気仙沼から2時間以上車を運転して駆けつけ、私は司会進行しながらいつものようにどきどきのコンサートです。オペラから童謡まで、ソロとアンサンブルを織り交ぜての幅広いプログラムを、世界に誇る素晴らしい音響のバッハホールで気持ちよく歌うことができました。次回は来年6月29日宮城野区文化センターでののはーとふるコンサートです。(星久美子)



免疫力UPで健康に

桑折洋一



3D振動で筋肉を活性化!

勉強会で知り合った健康サロンでの経営分析に係わったのがきっかけでした。このサロンは、両親の病気をキッカケに西洋医学に不安を感じ、免疫療法・・・インディバとの出会いから・・・自然療法の道に進んで行きました。それは、薬を使わずに、元来の治癒力(ちゆりよく)

を高めたり増強したりする自然療法です。その先には、・・・寝たきりや薬づけ病人が減り、いつまでも元気で素敵な人生を歩んでいただけると確信しました。

高齢化社会を迎えるにあたり、健康を真正面から考え、自分の免疫力UPの大切さをもっともっと伝えたい。そして楽しい老後を過ごす、つまりは健康寿命を延ばし若返ることによって、元気な地域を創って活きたい。そんな思いで、新会社を創ってしまいました。エステもなく、トレーニングジムでもない「健康」をいろいろな角度から考えたスタジオです!!

名前を『イミューン仙台』と言います。(イミューンとは、免疫)是非一度スタジオを覗いて見て下さい。まずは心と身体の健康が第一。

岩手江古田会総会に参加して

11月8日開催された岩手江古田会総会に桑折会長と私が参加しました。総会は野田学部長、綾部校友会会長をはじめ16人の参加でした。創立10周年となった総会では、野田学部長も「学部長就任と同じだなあ～」と10年を振り返っていました。懇親会の料理は地元食材をふんだんに使ったフランス料理で、特にホロホロ鳥の

料理は印象に残りとても美味しい懇親会となりました。この場で岩手江古田会の國分一彦会長が、秋の叙勲で瑞宝単光章を受章するとの報告がありました。我が柳橋先輩の受章に続き、同じ自動車部からの度重なる受章です。おめでとうございます。参加した岩手のメンバーは放送作家、写真家、国会議員、高校副校長、食品生産販売・・・とバラエティーに富んだ、そして芸術の香りがする皆様でした。(酒井健樹)

宮城江古田会 新年会 平成27年1月23日(金)開催

宮城江古田会の新年会を右の要領で開催いたします。お誘いあわせの上ご参加ください。個展・コンサート・出版・イベントのPRや支援要請など何でもどうぞ、お待ちしております。

日時 平成27年1月23日(金) 18:30～

会場 和食処「大ばん」 Tel.022-262-1746

仙台市青葉区中央1-7-6 西原ビルB1F
(七十七銀行名掛丁支店隣り)

会費 5,000円

〔編集後記〕

会報の発行は、2011年の震災の年から早いもので6号となりました。2014年は、役員改正があり会長・事務局長が変わりましたが・・・この会報の編集長は、塚崎前会長!!編集長は、このまま変わらずに行こうと思います。(塚さん宜しくです)

今年から、この会報は、年一回の発行となりました。来年の秋頃に7号の発行となります。身近で起こった事、皆様の近況報告等々・・・酒井事務局長<sakaitakeki@gmail.com>まで

ドシドシ原稿を送って下さい。お待ちしております。(桑折)

発行責任者 桑折洋一

事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21 (有)アズシステム

Tel:022-267-0894 Fax: 022-267-3798

Mail: koori@az-sys.co.jp